



北郷幹夫 議員

健診・保健指導

受診状況・受診率アップ対策は

町長／前年度より向上・さらに工夫していく

北郷 特定健診は40歳から74歳の国民健康保険加入者を対象に行い、特定保健指導では、医師や保健師などが生活習慣を見直すサポートを行います。①受診状況は、国の目標値と比較してこのように。また、受診率アップ対策は、②指導の必要な人数、うち指導を受けた人数

町長 ①厚生労働省は、健診の実施目標を60%としており、本町の受診率は53.2%で、前年度に比べ約5%向上しています。③健診結果表に4年分の結果が記載されていますが、5年程度の長いスパンで体の変化を捉えることができれば受診への動機付けになるのではありませんか。

また、受診率向上対策は、防災無線、広報ひろの等の活用、個別訪問等での受診勧奨、土曜日・日曜日の追加健診等工夫していきたいと考えています。②指導が必要な人数は、51人、うち指導を受けた人数は、29人です。③健診は、福島県保健衛生協会に委託し、県内統一された結果表を用いているため、町独自の変更はできません。

減免措置

北郷 国民健康保険の保険料と医療費の一部負担金、介護保険の保険料と利用負担金（上位所得者を除く）が減免になっていますが、生活再建策として、引き続き減免措置が必要と思われまます。町と議会、国へ要望活動を行っていましたが、今後も郡内8町村と一体となって減免を継続するよう強く要望すべきではないです。

町長

今後も機会を捉え、国民健康保険税、医療費一部負担金等について強く要望していく考えであります。

継続を強く要望すべき

町長／強く要望していく考え

町有地等

北郷 住宅用地確保が大変困難な状況や、町民以外の需要も高い状況が予想され、新しい住宅用地の整備として、駅東側開発整備事業を推進していますが、①分譲時期は、②現在、町有地で分譲できる遊休地は、

町長

③現在の幼稚園の引越後の使用用途は、④下浅見川、下北迫応急仮設住宅の撤去や原状回復工事後の使用用途は、④下北迫の敷地は、借地のため所有者に返還し、下浅見川の敷地は、適正かつ合理的な土地利用の検討をしていきます。

分譲・跡地有効活用策は

町長／具体的な活用方法を決定していく

9人の議員が町政を問う 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成30年9月定例会 ●一般質問 門馬まりえ 議員

費用を助成する考えは

不妊治療にかかる費用の多くは、保険適用外となり、精神的、経済的負担は多大なものと考えます。町で助成すべきではありませんか。

前向きに検討する

経済的、精神的不安解消のため、不妊治療の助成制度を前向きに検討します。

1月1日より施行されました

特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する費用の一部を助成する制度がスタートしています。

平成31年1月1日以降に治療期間が終了した特定不妊治療が該当となり、助成額は、1回につき最大30万円です。

詳しくは、役場こども家庭課（☎27-2115）へご相談下さい。